

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市上京区染殿町新築工事	階数	地上5F地下1F
建設地	京都市上京区寺町通石薬師下る染殿町665-3	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域, 準防火地域	平均居住人員	120 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月	評価の実施日	2017年8月4日
敷地面積	2,083 m ²	作成者	東洋設計事務所 濱井伸吉
建築面積	1,247 m ²	確認日	2017年8月8日
延床面積	6,234 m ²	確認者	東洋設計事務所 濱井伸吉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 67%
③上記+②以外の 66%
④上記+ 66%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の配置や形態は街並みや景観との調和に配慮し、また遮音性・断熱性を高めるなど建物利用者にとって快適であるよう掛けている。	その他 特になし
Q1 室内環境	住戸の遮音性を高め、室内の環境に配慮してF☆☆☆☆の建築材料を使用。	Q3 室外環境(敷地内) できる限りの緑地を敷地内に配置。
LR1 エネルギー	高効率機器の採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=66%
Q2 サービス性能	室内外の耐用年数の高い建築材料採用。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される